

2008年3月期 決算説明会

2008年5月21日

日本ロジテム

証券コード: 9060

URL:<http://www.logitem.co.jp>



本日の内容

1. 2008年3月期決算の実績

2. 2009年3月期決算の見通し

3. 海外事業(インドシナ半島)の取組み



本日の内容

1. 2008年3月期決算の実績

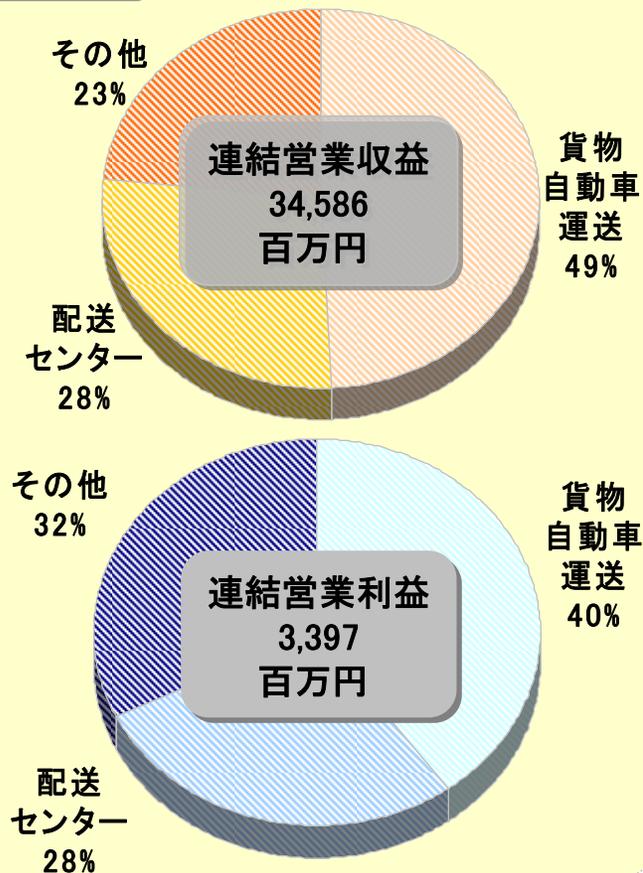
2. 2009年3月期決算の見通し

3. 海外事業(インドシナ半島)の取組み

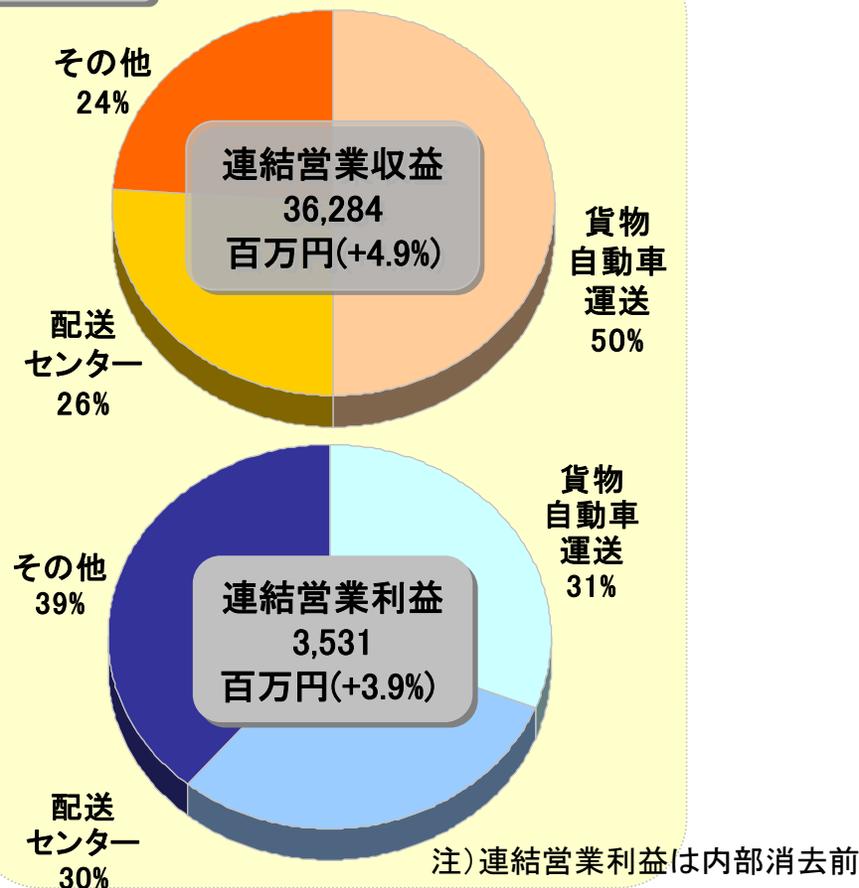


ロジテムグループの収益構造

07/3期



08/3期



貨物自動車運送事業

一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業

配送センター事業

倉庫業、流通代行業

その他事業

業務請負事業、人材派遣事業、旅客自動車運送事業、不動産事業、施工事業



2008年3月期決算のポイント(連結)

**営業収益は前期比4.9%増、
経常利益は同18.2%減、当期純利益は同56.8%減**

営業収益は、増収も

顧客の1社(マザーバード)が民事再生手続開始の申し立てが受理されたこと
にともない貸倒引当金繰入額が増加、一般管理費と特別損失に計上し、減益

周辺事業の専門性向上と経営効率化による収益力の強化

施工関連事業のロジテムエンジニアリングを新設、
バルク車両部門の子会社(ロジテムトランスポート・大阪信和運輸)を統合

インドシナ半島における物流事業が順調に拡大

ラオス物流子会社「ロジテムラオス」が07年10月営業開始



2008年3月期決算の概要

マザーバードの民事再生手続きにより貸倒引当金繰入額が増加

	08/3期		07/3期
	実績	前期比(%)	実績
連結営業収益	36,284	+4.9	34,586
連結営業利益	854	-9.6	945
(同利益率)	2.4	-0.3P	2.7
連結経常利益	688	-18.2	841
(同利益率)	1.9	-0.5P	2.4
連結当期純利益	146	-56.8	340
(同利益率)	0.4	-0.6P	1.0

注) 利益率の増減は前期比ポイント

(単位: 百万円、%)

08/5/8公表	
マザーバードの民事再生手続き開始の申し立てにともなう08/3期決算の影響額(貸倒引当金繰入額)	
販売費および一般管理費	29
特別損失	195
合計	224

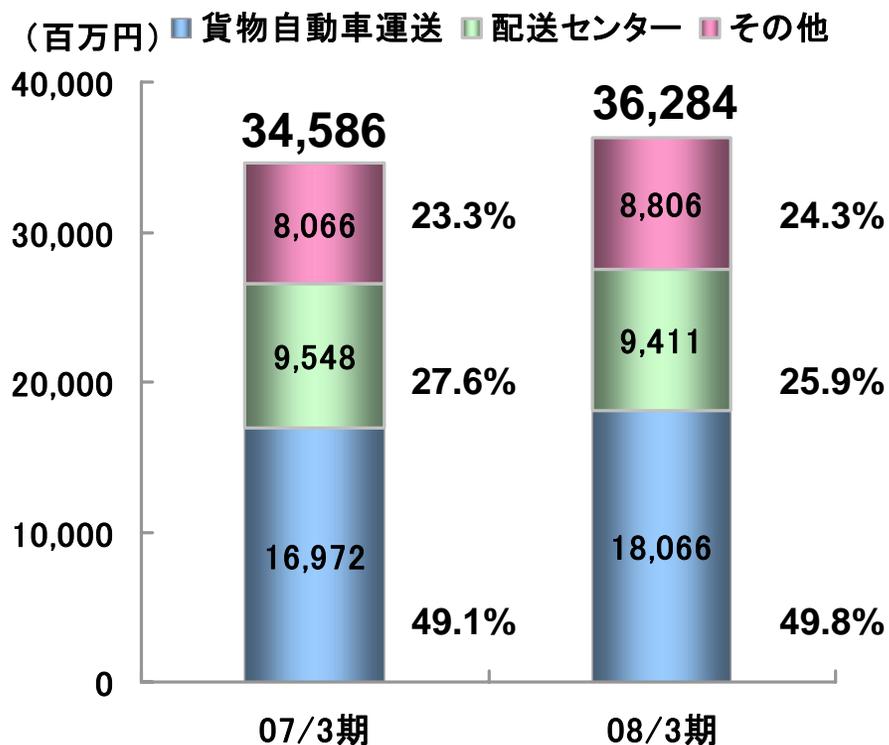
・08/3期前提 海外TTMLレート(月末平均)

台湾: 3.59NT\$、香港: 15.09HK\$、ベトナム・ラオス: 117.22US\$、中国: 15.50RMB、タイ: 3.70BATH



セグメント別連結営業収益

貨物自動車運送事業とその他事業が営業収益を牽引

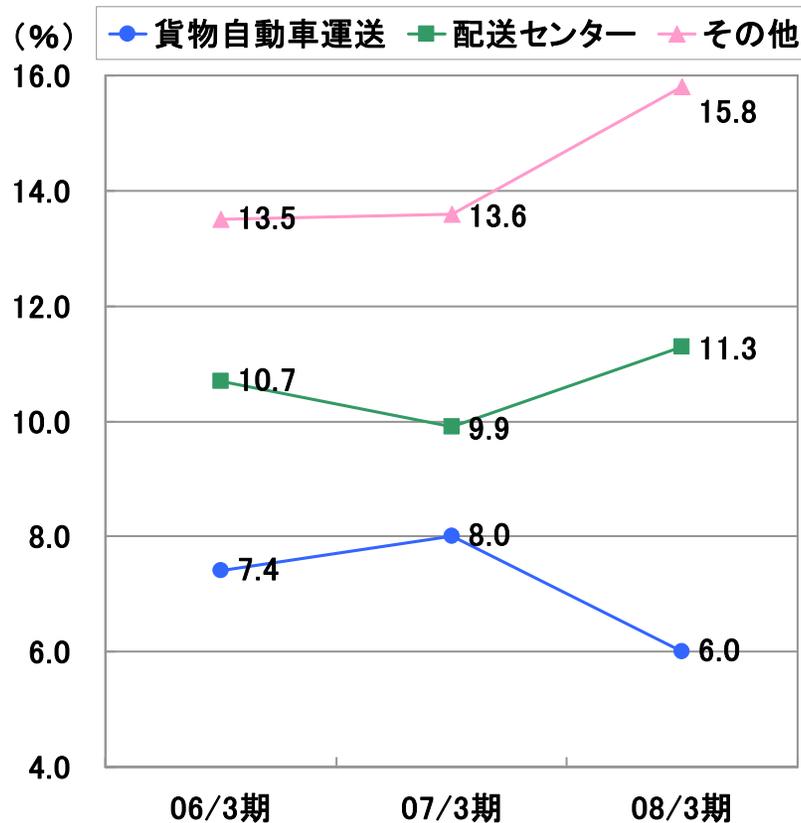
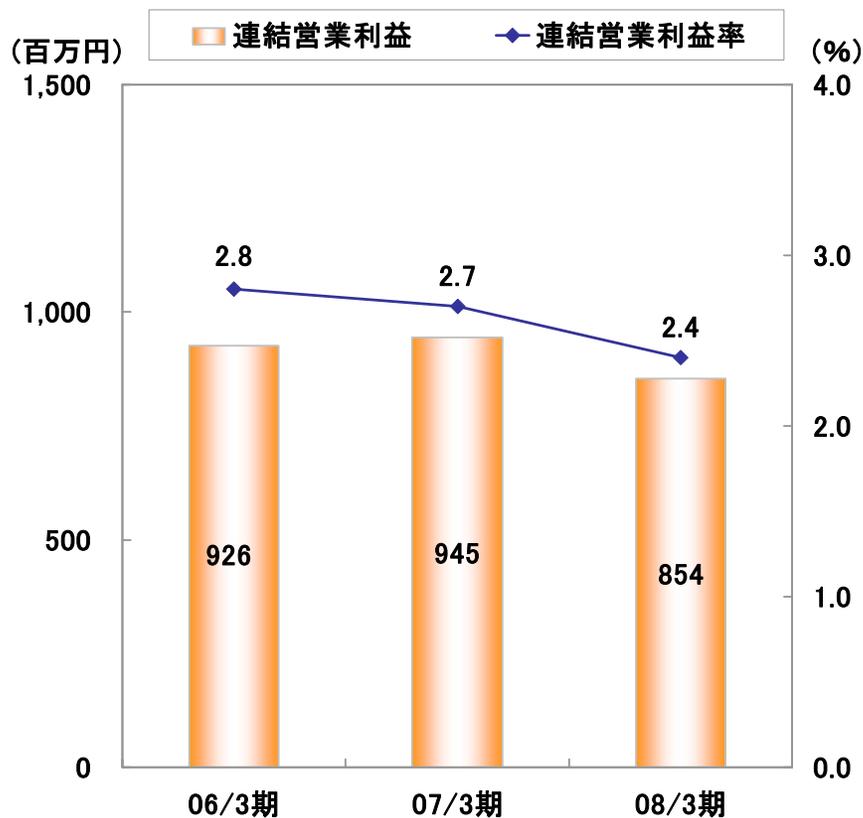


- 貨物自動車運送事業は、前期比6.4%増収
 - 日本ロジテム、阪神ロジテムの既存得意先の配送エリア拡大
 - ロジテムベトナムNo.2の営業強化
 - ロジテムトランスポートのバルク輸送の拡大
- 配送センター事業は、同1.4%減収
 - 日本ロジテムにおいて一時的な空スペースが発生
 - 日本ロジテムにおいて新規配送センター業務を受注
- その他事業は、同9.2%増収
 - 日本ロジテム、ロジテムエージェンシーの工場内請負業務の拡大
 - ロジテムエンジニアリングの施工事業拡大
 - ロジテムベトナムNo.1の旅客自動車運送事業の拡大



連結営業利益とセグメント別状況

貨物自動車運送事業の燃料高、配送効率の悪化により、営業利益が減益



注)セグメント別営業利益率は内部消去前

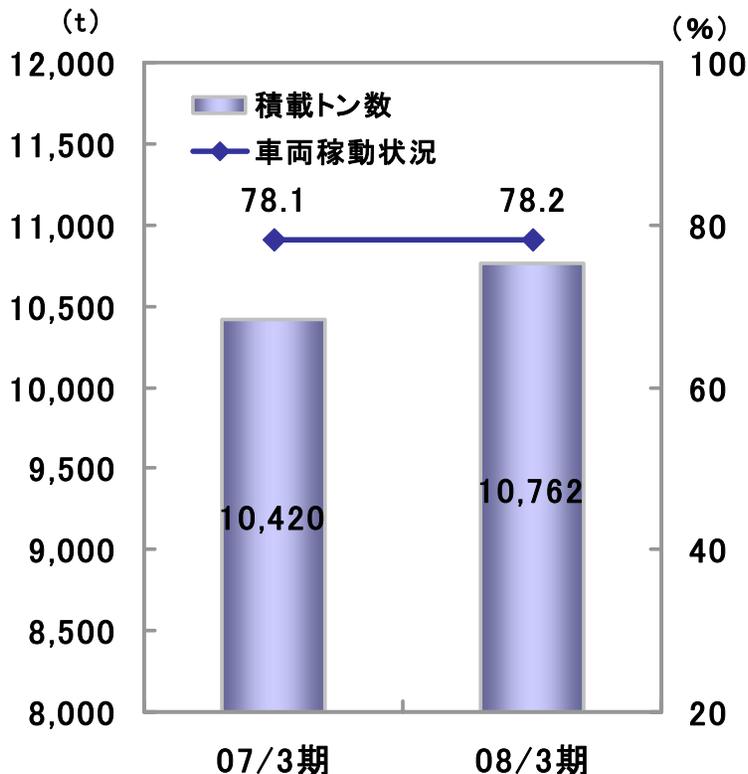


貨物自動車運送事業

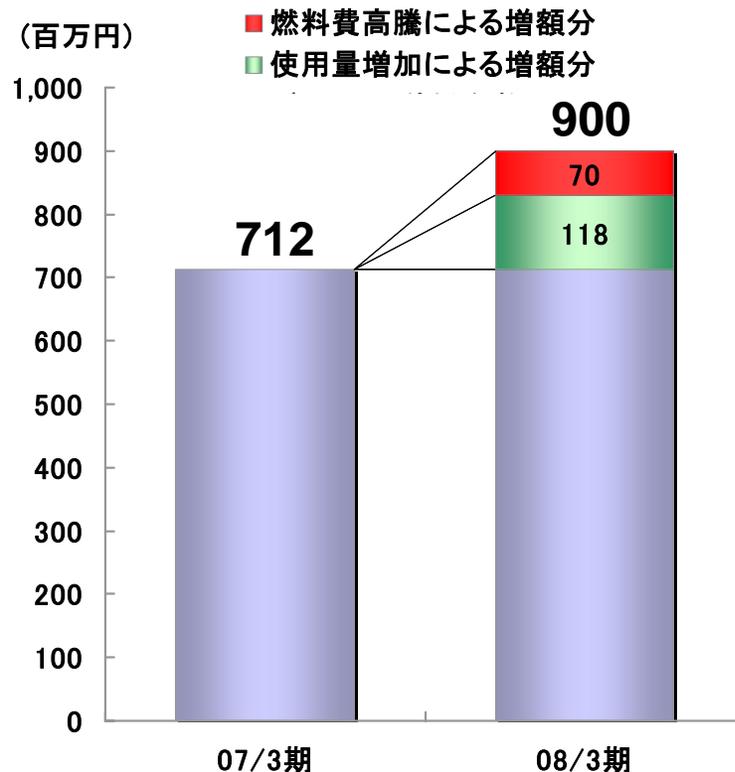
前期比6.4%増収、20.4%営業減益
輸送能力が3.3%アップ、車両稼働率は0.1Pアップ

保有・管理台数(1日あたり) △31台の1,480台

燃料費高騰により70百万円負担増



輸送能力 注)連結ベース、自車・協力車の合算数値

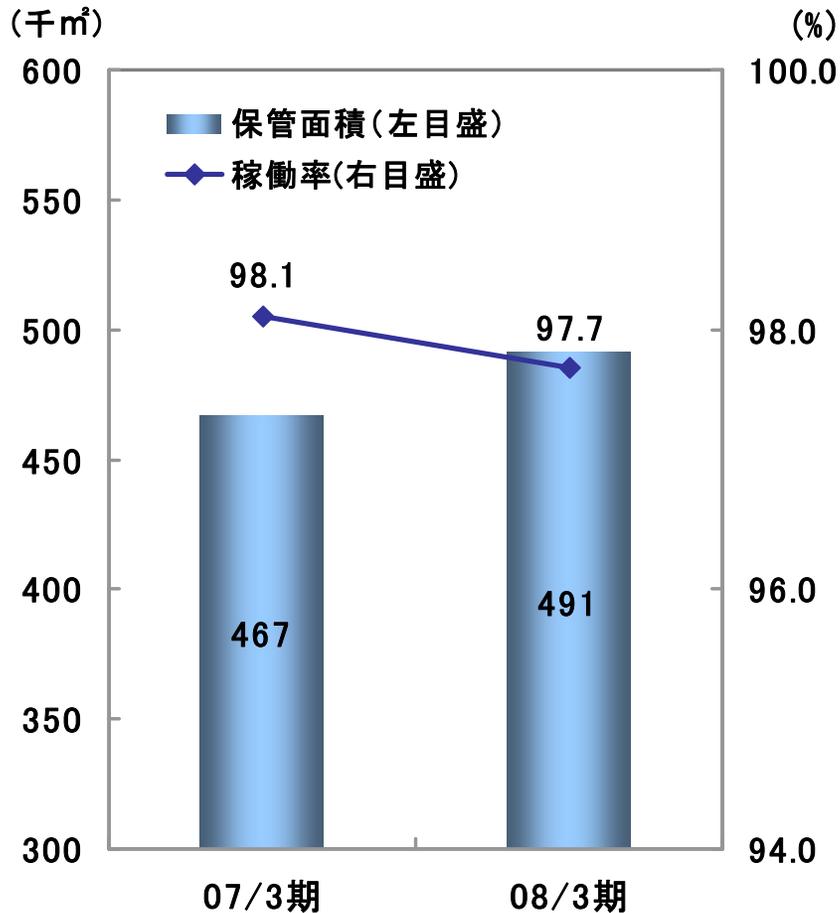


燃料費推移



配送センター事業

前期比1.4%減収、12.7%営業増益
稼働率の低下も、初期費用解消による増益



	07/3	08/3
倉庫棟数	111	110

- ◆ 保管面積は、前期比5.8%増の49万1千平米に増加
- ◆ 稼働率は、一時的な空スペースが発生し、0.4ポイント低下も高水準維持
- ◆ 前連結会計年度における一部得意先移設による初期費用が解消し、増益

注) 賃借物件を含む



その他事業

前期比9.2%増収、26.7%営業増益
業務請負拡大、旅客車両増強、施工事業の強化

業務請負、人材派遣

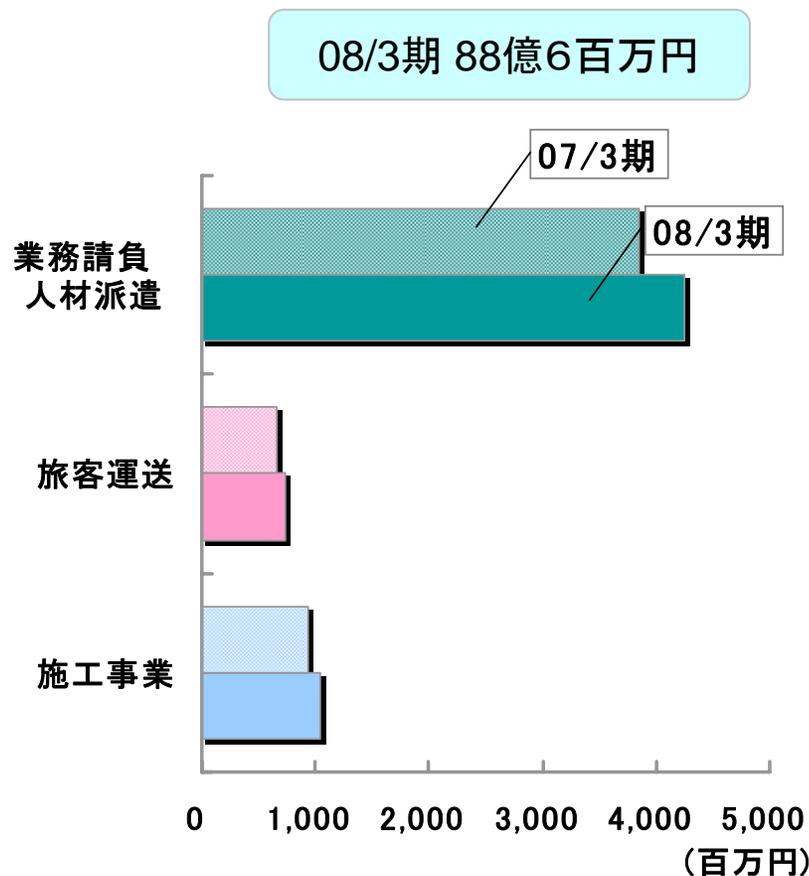
営業収益42億42百万円(+10.0%)
3億87百万円の増収

旅客運送事業

営業収益7億39百万円(+13.2%)
86百万円の増収

施工事業

営業収益10億41百万円(+11.0%)
1億3百万円の増収

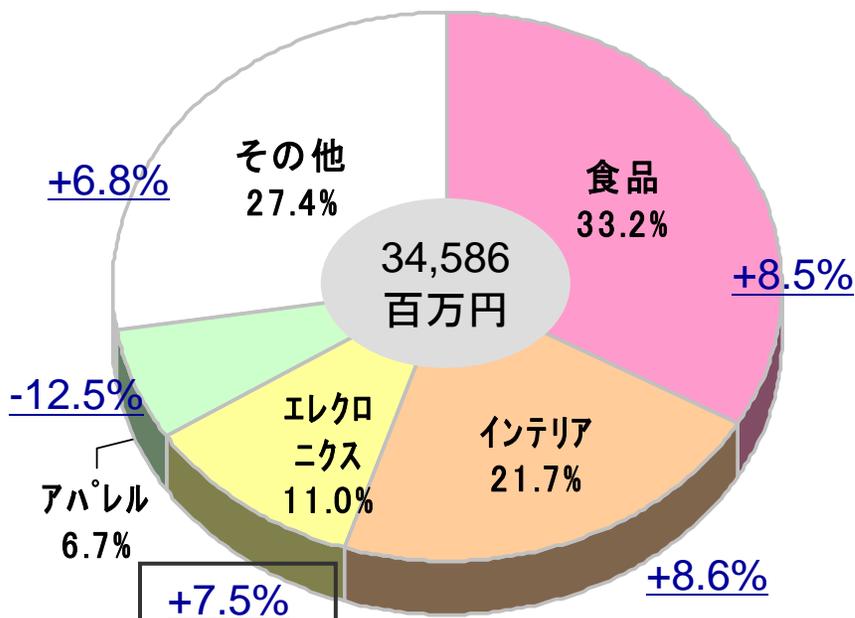




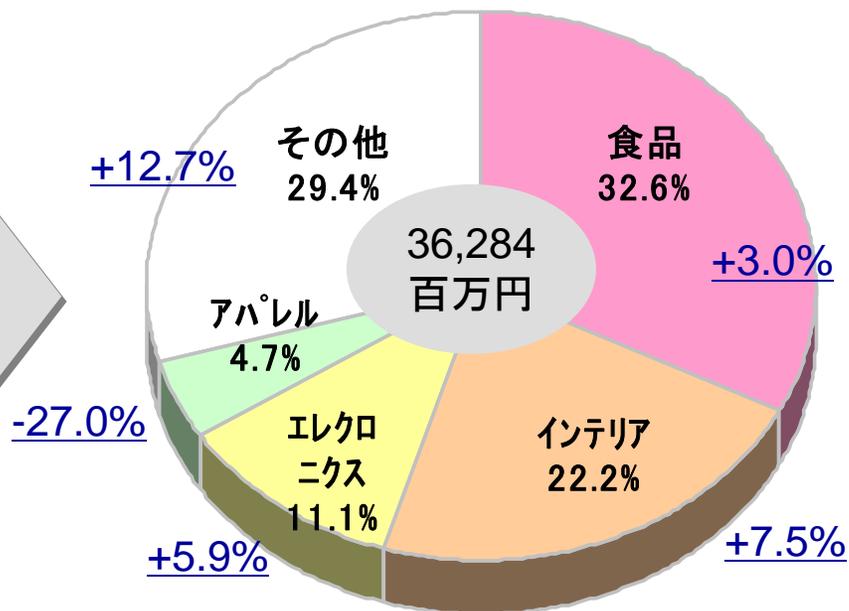
取扱い品目別情報

主力アイテムの取扱高が続伸
インテリア+7.5%、エレクトロニクス+5.9%、その他+12.7%

<2007年3月期>



<2008年3月期>



※前年同期伸び率

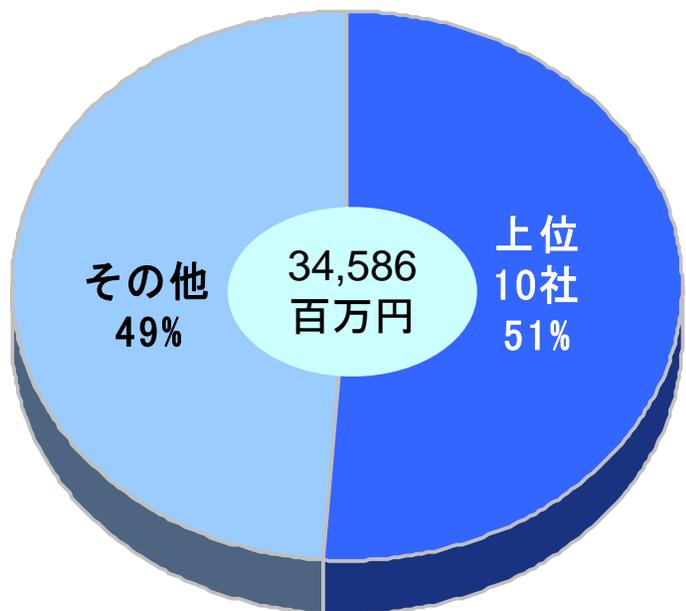
(売上高構成比率、前期比伸び率)



クライアントの状況

安定した顧客ポートフォリオ
上位10社が50%を占める

<2007年3月期>



<2008年3月期>



(売上高構成比率)

B2B物流をクライアントから一括請負受注



連結貸借対照表

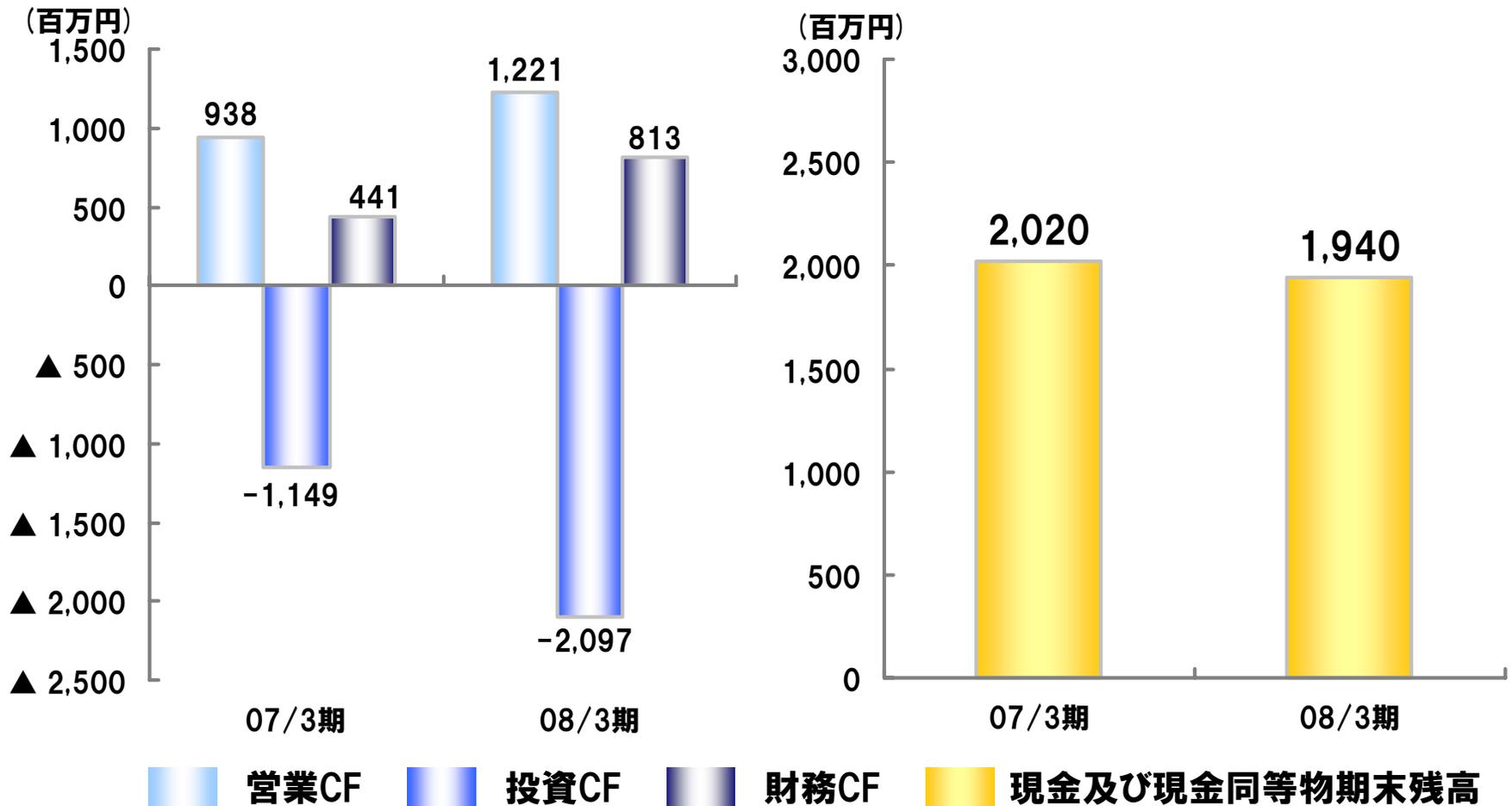
(単位:百万円、%)

科目	07/3期	08/3期	増減額
【資産の部】			
流動資産	8,112	8,267	154
固定資産	22,090	22,460	369
資産の部合計	30,203	30,727	524
【負債・純資産の部】			
流動負債	10,484	10,847	363
固定負債	8,648	8,876	227
負債の部合計	19,133	19,723	590
純資産の部合計	11,070	11,003	△66
負債・純資産合計	30,203	30,727	524
(有利子負債	11,861	12,826	965



キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローの推移





本日の内容

1. 2008年3月期決算の実績

2. 2009年3月期決算の見通し

3. 海外事業(インドシナ半島)の取組み



当社グループを取り巻く環境

外部環境

エネルギー価格
の高騰
※P38「ご参考」
軽油価格動向参照

国土交通省による
燃料サーチャージ制
ガイドラインの策定

改正建築基準法による
ビル建設
リニューアルの遅れ

メーカー各社の物流戦略
アウトソーシングの加速
発注先の集約

ロジテムグループの取組み

営業収益の拡大

グループ各社の
専門性向上

ローコストオペレーション
活動の推進

ERPパッケージの
本格稼動
(08年6月～)

業務改善による
品質向上

小集団活動の
導入
(08年4月～)



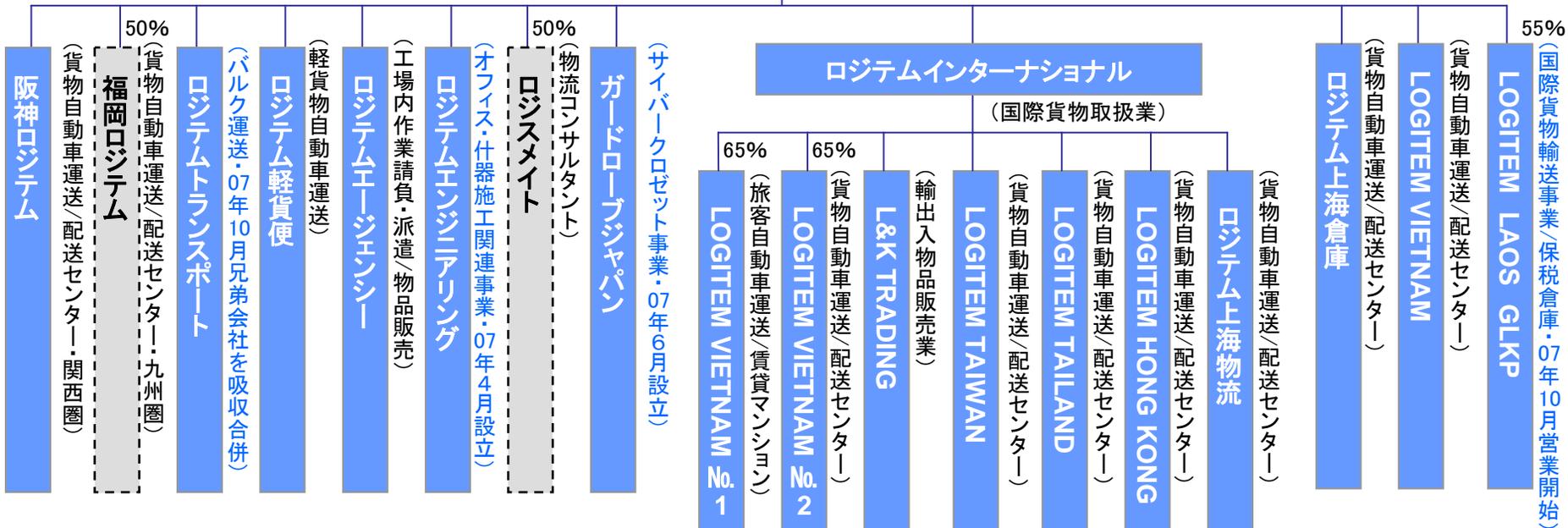
ロジテムグループの組織力を強化

地域・事業体別に国内・海外に19社のグループ会社

連結子会社
持分法適用会社

日本ロジテム

(貨物自動車運送/配送センター・関東圏・中部圏)



地域別	運送品目別	サービス別 (運送以外)
法人	個人	
国内	ベトナム	台湾
	タイ	香港
	中国	ベトナム
	ラオス	
	海外	



専門性を活かして厚みを増す国内ビジネス

阪神ロジテム

岡山県で日清製粉グループの元請業者に選定。(08年4月～)

福岡ロジテム(持分法対象)

08年3月から川下物流ビジネス(配送センターから店舗)へ参入。ノウハウを蓄積して関東での営業展開も視野。

ガードローブジャパン

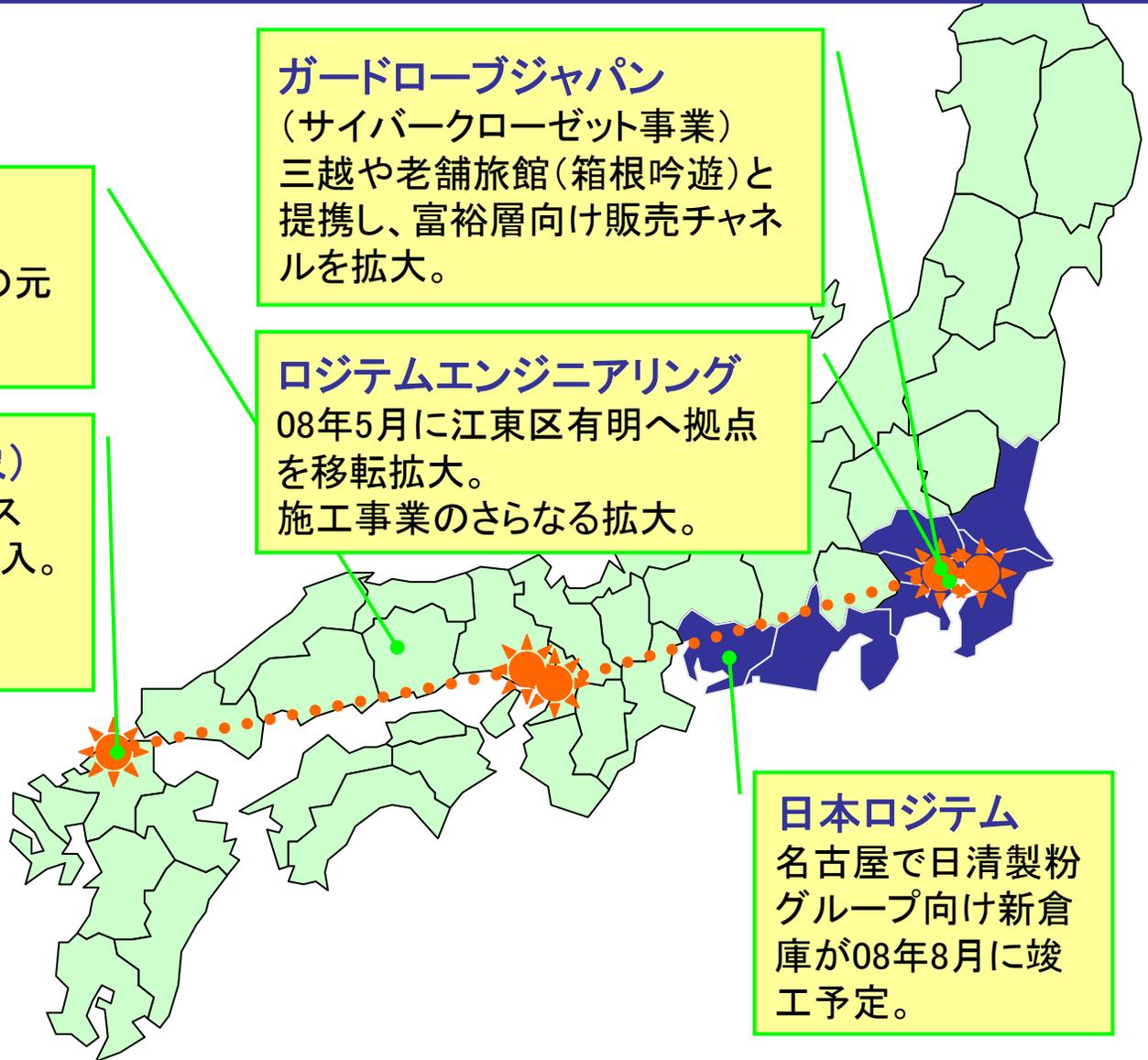
(サイバークローゼット事業)
三越や老舗旅館(箱根吟遊)と提携し、富裕層向け販売チャネルを拡大。

ロジテムエンジニアリング

08年5月に江東区有明へ拠点を移転拡大。
施工事業のさらなる拡大。

日本ロジテム

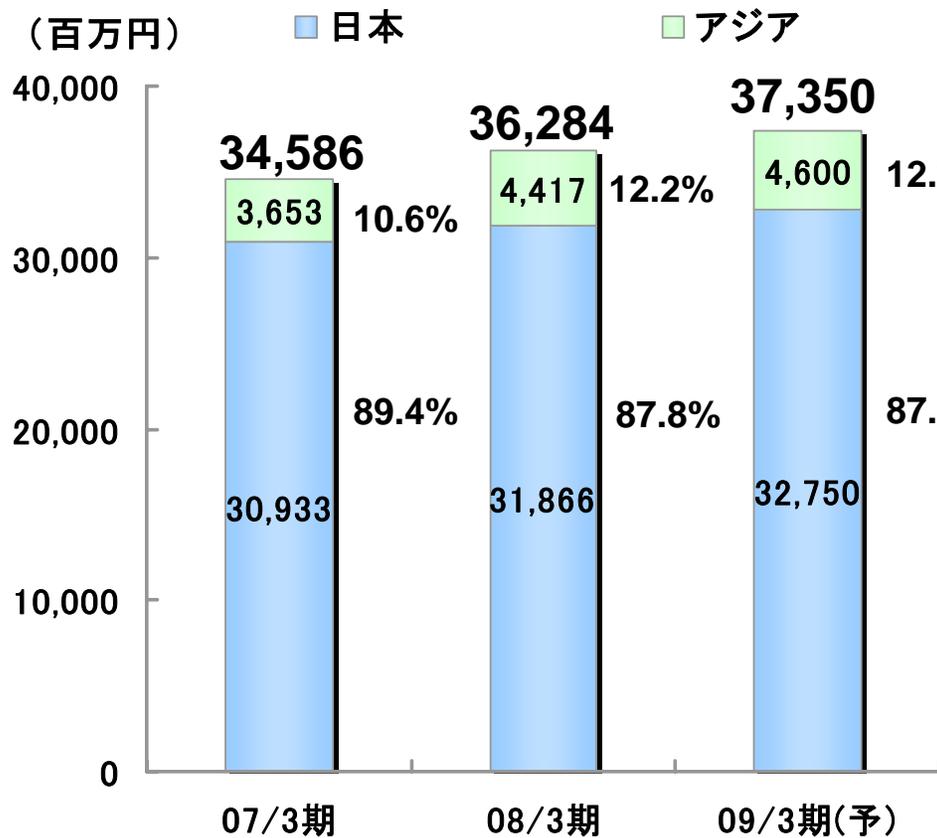
名古屋で日清製粉グループ向け新倉庫が08年8月に竣工予定。





国際物流事業の更なる育成

海外売上高46億円、海外売上高比率12.3%へ伸長



- ◆ ロジテムベトナムNo.1の旅客自動車運送事業の拡大
- ◆ ロジテムベトナムNo.2の既存得意先における取扱量の拡大
- ◆ 前連結会計年度より連結範囲に加わったロジテムベトナムが業績に寄与
- ◆ 今期に20周年を迎える台湾で、さらなる事業拡大を狙い倉庫を計画中

(注)

1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております
2. 各区分の属する国又は地域の区分は次のとおりであります
・アジア・・・ベトナム、中国、台湾、タイ、ラオス
3. 海外売上高は、日本ロジテム及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります

為替レート (\$)	07/3期	08/3期	09/3期(予)
	116.40円	117.22円	100.00円



ローコストオペレーション活動の推進

1. ERPパッケージの本稼動による日々管理の徹底
 - (1) サービスの品質・管理体制の強化
 - (2) 営業活動の効率化
2. 「小集団活動(5-7名)」による現場における改善活動を強化

業務の効率化とコストダウンの推進



2009年3月期決算の見通し

注) 利益率の増減は前期比ポイント
(単位: 百万円、%)

	09/3期(予)		08/3期	
	金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
連結営業収益	37,350	+2.9	36,284	+4.9
連結営業利益	990	+15.9	854	-9.6
(同利益率)	2.7	+0.3P	2.4	-0.4P
連結経常利益	750	+9.0	688	-18.2
(同利益率)	2.0	+0.1P	1.9	-0.5P
連結当期純利益	330	+124.6	146	-56.8
(同利益率)	0.9	+0.5P	0.4	-0.6P
連結EPS	24.11	+124.6	10.73	-56.8
配当	8円		8円	

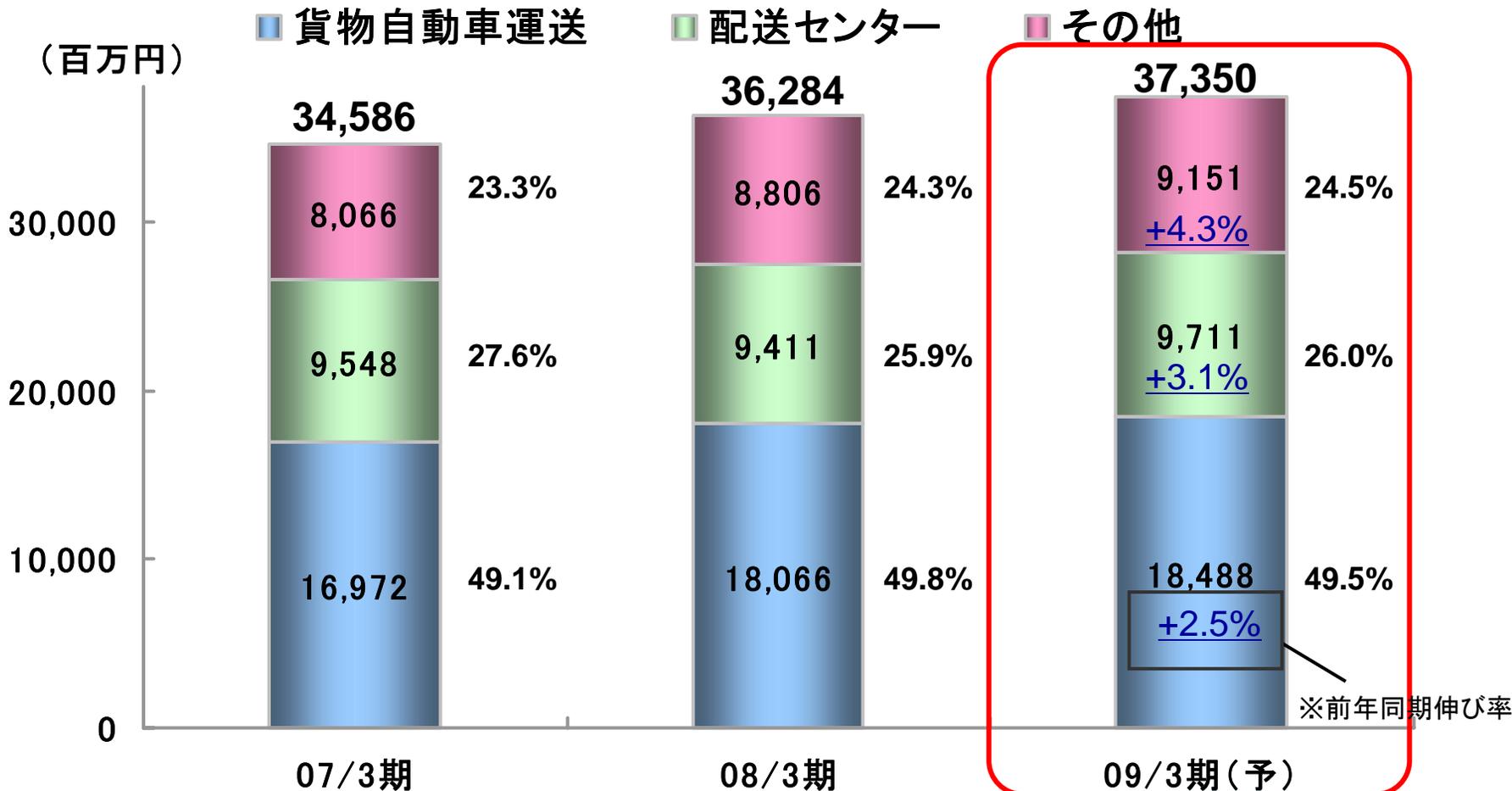
・09/3期前提 海外TTMLレート(月末平均)

台湾: 3.30NT\$、香港: 12.90HK\$、ベトナム・ラオス: 100.00US\$、中国: 14.10RMB、タイ: 3.40BATH



セグメント別営業収益

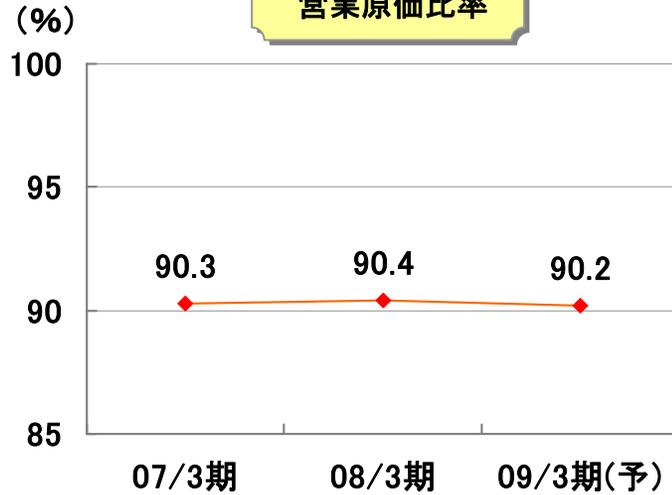
貨物自動車運送事業とその他事業(施工関連)が続伸



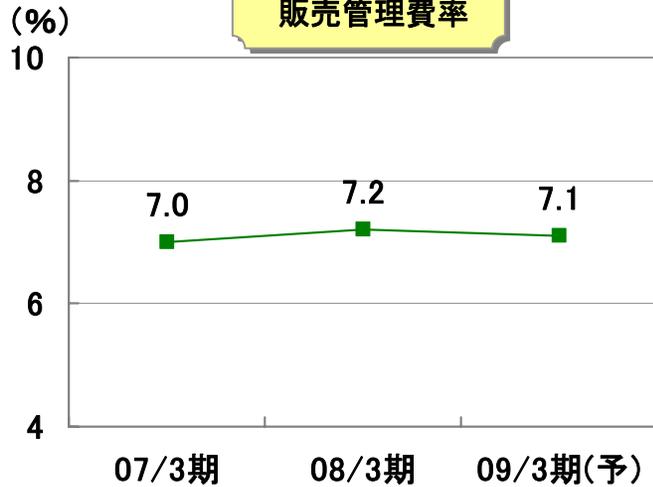


営業利益の見通し

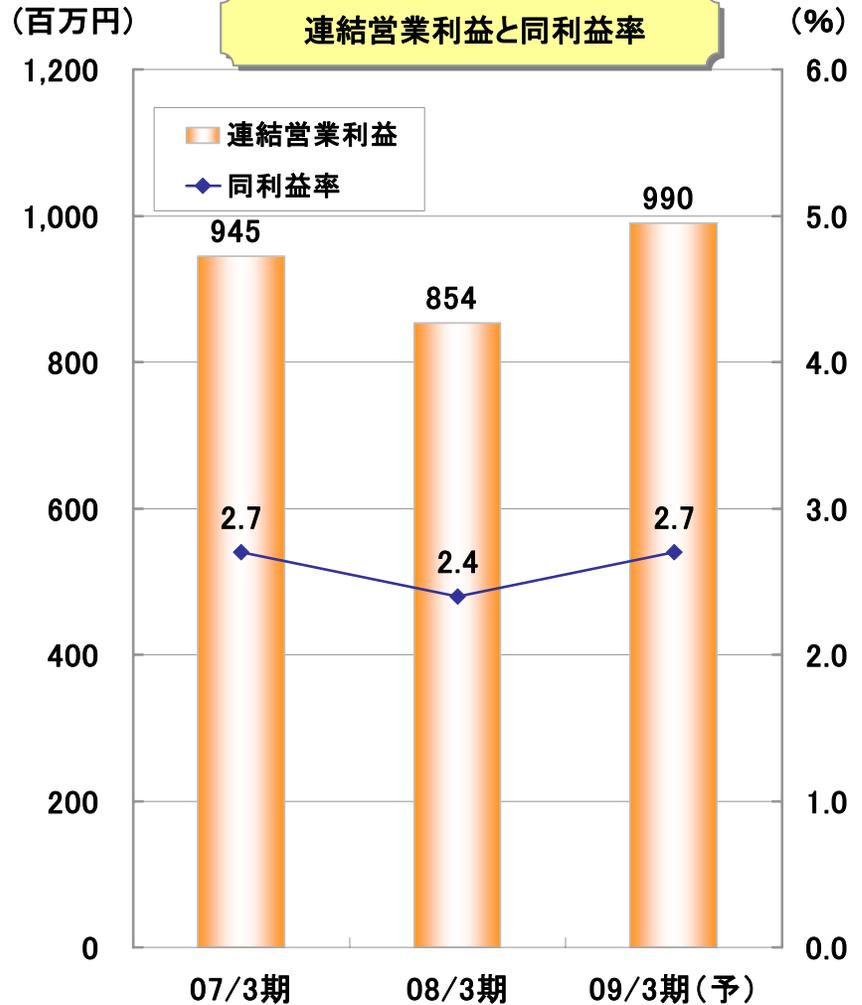
営業原価比率



販売管理費率



連結営業利益と同利益率





本日の内容

1. 2008年3月期決算の実績

2. 2009年3月期決算の見通し

3. 海外事業(インドシナ半島)の取組み



東南アジアでグループネットワークを構築

海外事業	1980年代	1990年代	2000年代	海外進出 20年	事業内容
台湾		LOGITEM TAIWAN			貨物自動車運送配送センター他
中国		LOGITEM HONG KONG			貨物自動車運送配送センター他
			LOGITEM SHANGHAI		貨物自動車運送配送センター他
			LOGITEM SHANGHAI WAREHOUSE		配送センター
タイ		LOGITEM THAILAND			貨物自動車運送配送センター他
ベトナム		LOGITEM VIETNAM No.1			旅客自動車運送
		LOGITEM VIETNAM No.2			貨物自動車運送配送センター他
			L & K TRADING		物品販売
			LOGITEM VIETNAM		貨物自動車運送配送センター他
ラオス			LOGITEM LAOS GLKP		貨物自動車運送配送センター他



海外事業における地域別戦略

地域別事業戦略	
台湾	<ul style="list-style-type: none">・新倉庫構想を視野に入れた営業開発の強化
中国 (上海) (香港)	<ul style="list-style-type: none">(上海)<ul style="list-style-type: none">・上海内貨倉庫を活用した提案営業の推進・検査、検品業務をコアとした営業拡大(香港)<ul style="list-style-type: none">・新規得意先の開発及び輸出入業務の拡大
タイ	<ul style="list-style-type: none">(3国共通)<ul style="list-style-type: none">・東西回廊を活用した国際陸上輸送の確立
ベトナム	<ul style="list-style-type: none">(タイ)<ul style="list-style-type: none">・国内物流業務の強化(ベトナム)<ul style="list-style-type: none">・既存得意先の深耕と進出企業の積極営業
ラオス	<ul style="list-style-type: none">(ラオス)<ul style="list-style-type: none">・ラオス国内物流を視野に入れた営業



ベトナム国内物流で他社を先行

日本企業の進出に伴う物流ニーズに対応

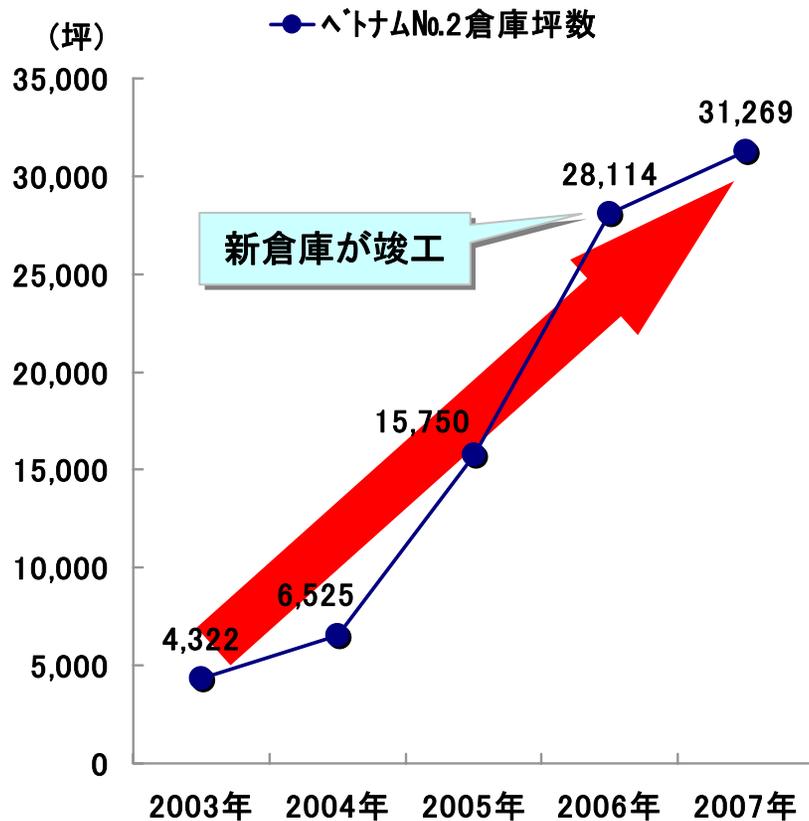
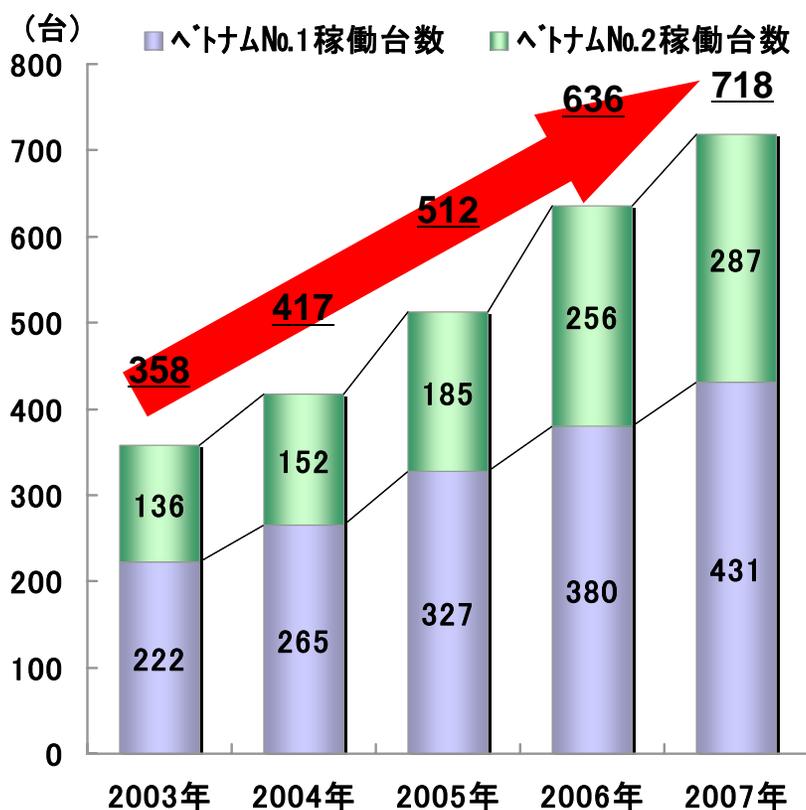
	主要事業	主要拠点	従業員数	保有台数	倉庫面積 /販売店数	主要得意先 /販売商品
LOGITEM VIETNAM No.1	旅客自動車運送 賃貸マンション	ハノイ ホーチミン ハイフォン	518名	バス 178台 乗用車 223台	—	キャノンベトナム 日本人学校 JAL
LOGITEM VIETNAM No.2	貨物自動車運送 配送センター	ハノイ ホーチミン ダナン	808名	215台	31,269坪	ヤマハ ホンダ トヨタ JVC パナソニック 花王
LOGITEM VIETNAM	その他	ビンフック				
L&K TRADING	物品販売	ハノイ ホーチミン	51名	—	自社店舗 5 代理店等 13	化粧品 その他 (マザーラック等)

注) 従業員数・保有台数・倉庫面積等の数値は2007年12月現在



旅客事業に加えて貨物事業も伸長

4年間で稼働台数2.0倍、倉庫坪数7.2倍に増強



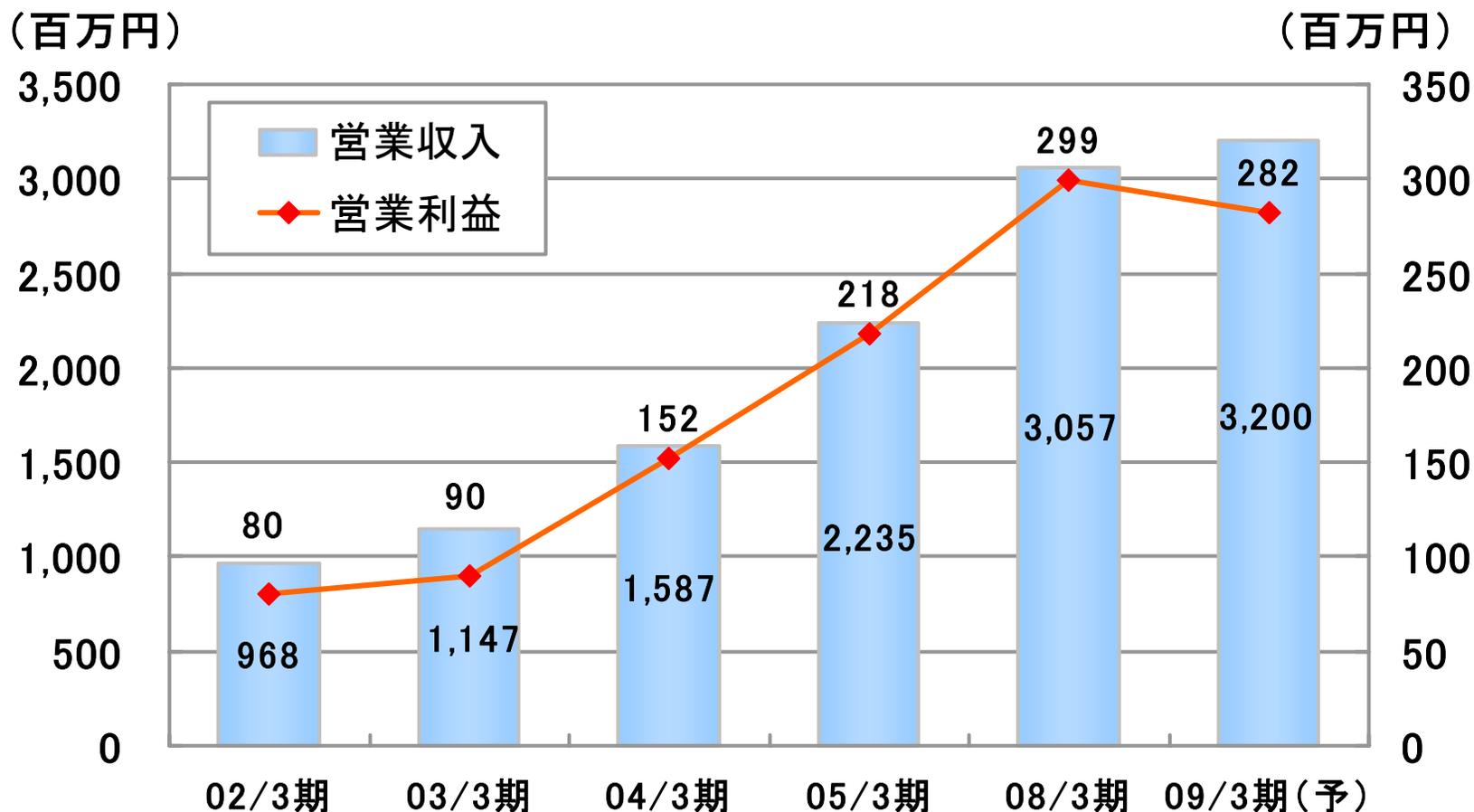
(注)

1. 車両台数: 自車両・リース車両・協力車両の合算数値
2. 倉庫坪数: 自社倉庫・賃借倉庫の合算数値
3. 海外子会社は12月決算



高成長続くベトナムグループ

円高による影響も、営業収入4.7%増の32億円を見込む



為替レート(\$)	115.72円	108.01円	110.94円	116.40円	117.22円	100.00円
-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

注)ベトナムグループ4社(LV1・LV2・LVC・L&K)の単純合算(内部消去前)海外子会社は12月決算



インドシナ半島全体で一貫輸送体制が確立

ロジテムラオス昨年10月営業開始、保税倉庫リニューアル

ロジテムラオス

- 所在地 ラオスサバナケット県
- 敷地面積 30,000㎡
- 建物面積 2,700㎡(保税倉庫)

他の物流企業も利用可能とする
トラックターミナルを運営する
体制を構築

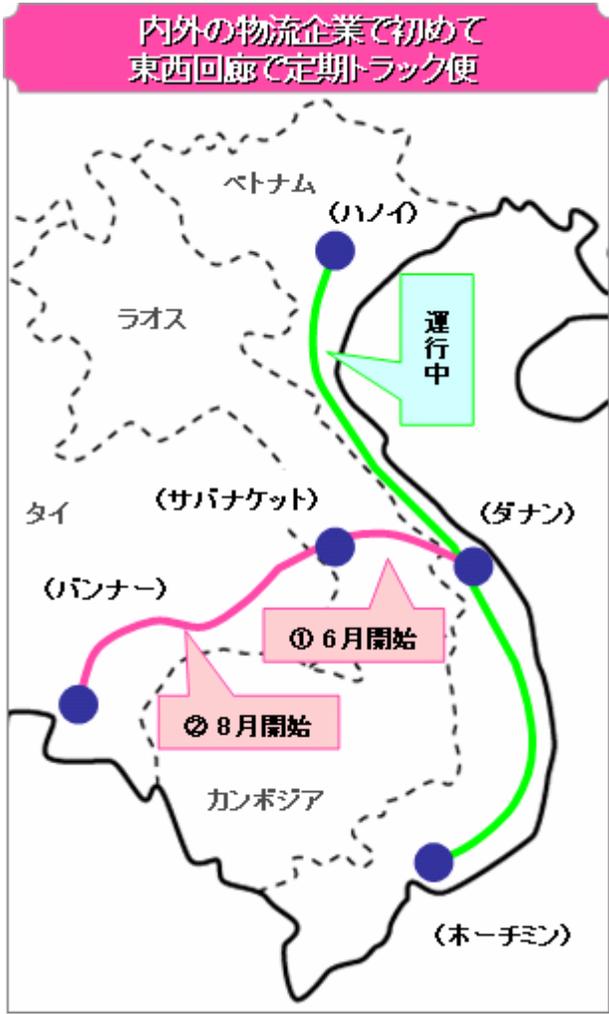
通関手続きを迅速に行なうため、
同保税倉庫敷地内に
ラオス税関出張所設置を計画中





インドシナ半島のインフラが整い、 ビジネスは拡大期へ

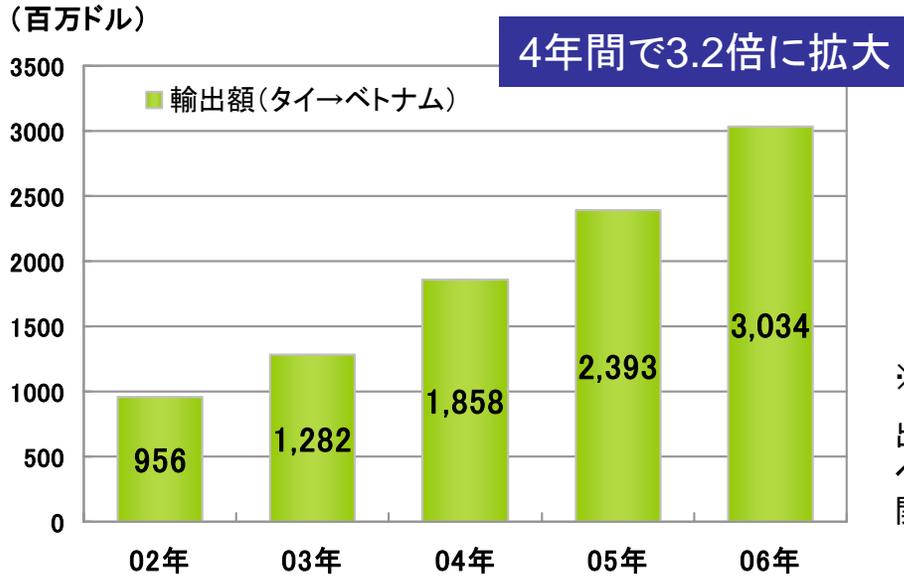
タイ-ベトナム間の定期トラック輸送スタート、混載便も視野



【輸送日数】海路輸送の4分の1へ

- ① ラオス(サバナケット)
→ ベトナム(ハノイ、ホーチミン)2日
- ② タイ(バンナー)
→ ベトナム(ハノイ、ホーチミン)4日

【主な取扱品目】
電子機器、自動車部品



※2005年は暫定値
出所：
ベトナム統計総局
関税総局



日本一信頼される企業グループを目指す

保管、荷役、流通加工、情報システム、3PLへと進化するロジスティクス業界

物流最適化のためのソリューションを提案

日本ロジテム
グローバル・ロジスティクス

海外ネットワーク

国内関係会社



トピックス(2007年9月～2008年3月)

	内 容
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 子会社「ロジテムトランスポート」と「大阪信和運輸」を合併 ● 子会社「ロジテムエンジニアリング」の営業開始 ● 子会社「ガードローブジャパン」の営業開始 ● 子会社「ロジテムラオス」の営業開始 ● 社団法人日本物流団体連合会が実施する「モーダルシフト取り組み優良事業者」に選出
11月	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 名古屋営業所、新倉庫着工 ● 個人投資家向け会社説明会開催(名古屋)
1月	● ERPパッケージ(基幹業務ソフト)テスト稼働
2月	
3月	● ロジテムラオスの保税倉庫リニューアル、オープニングセレモニー開催



名古屋新倉庫完成予想図



個人投資家向け説明会(名古屋)



ERPパッケージ(基幹業務ソフト)



ラオスオープニングセレモニー



【ご参考】サイバークローゼット事業

BtoC(企業対個人)へ本格進出、高付加価値サービスを提

2007年10月
ガードローブジャパ
営業開始

個人富裕層を対象とした
会員制サイバークロー
ゼット事業へ進出

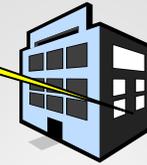
メンバー登録
アイテム閲覧・オーダー



自宅・ホテル



GARDE ROBE



撮影



オプションサービス

クリーニング・衣装のお直し
着付け・ファッションコーディネート
メイクアップ・ヘアメイク



お預かり



自宅
オフィス
ホテル
イベント会場



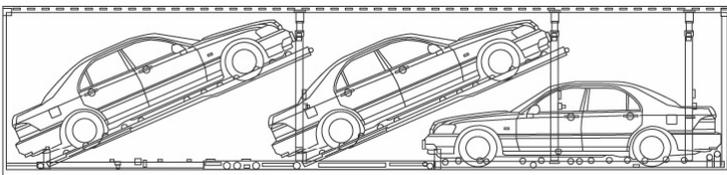
【ご参考】世界初、コンテナによる「自動車梱包物流」

■アジア地域での旺盛な完成車輸送需要に対応

- 工場から直接輸送・ダメージ率低減と輸送コスト削減
- 小ロット・多品種輸送を実現

■インドシナ半島6カ国（ベトナム・タイ・マレーシア・ラオス・カンボジア・ミャンマー）で独占販売権を取得

Mタイプ



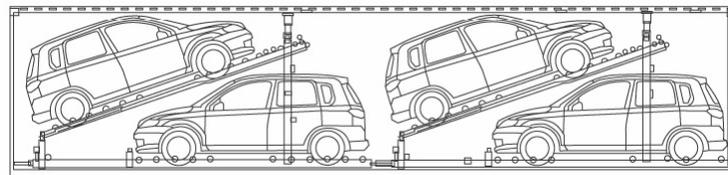
①



②



Sタイプ



③



④



⑤





【ご参考】環境保全活動の取り組み

「人と環境にやさしい物流」の推進

「モーダルシフト取組み優良事業者」に選出

(社団法人日本物流団体連合会認定)

- 長距離トラック輸送から鉄道コンテナ輸送
(31ftコンテナ等)への積極的な提案

「グリーン経営認証」倉庫部門を取得

(国土交通省推奨)

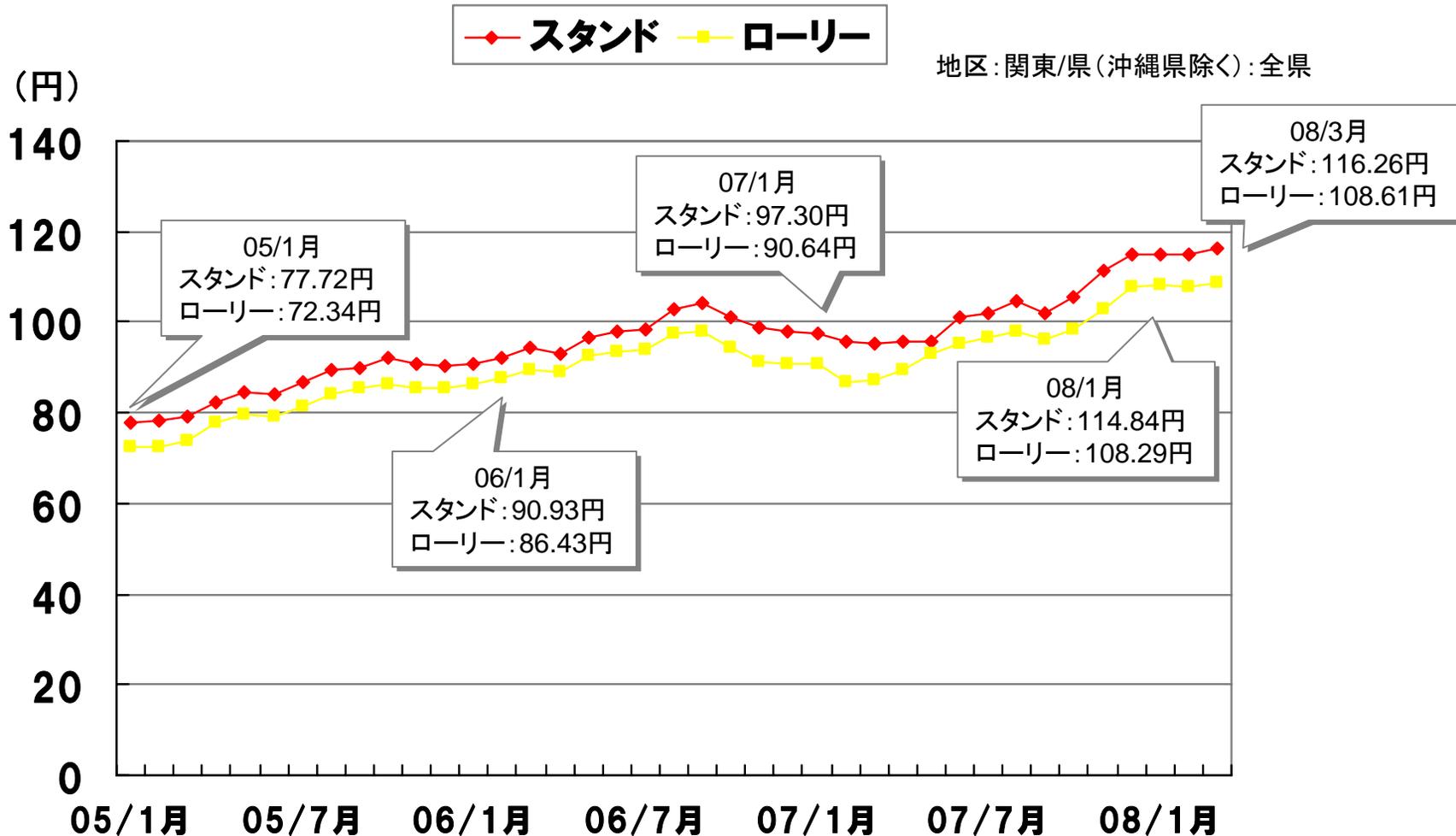
- 全営業所で廃棄物の削減、電力・紙の使用量減少を推進
- 昨年度は、運輸部門を取得
- ISO14001認証は、本社で取得済み





【ご参考】軽油価格動向

05年1月比でスタンド49.6%、ローリー50.1%の単価上昇



出所: 全日本トラック協会、平成20年4月25日現在



- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。